

直方市農業委員の推薦の状況

【推薦の状況】

受付番号	被推薦者（推薦を受けた者）						推薦者（推薦をする者）			
	氏名	年齢	性別	職業	経歴及び 農業経営の状況	認定農業 者等の 該当・ 非該当	代表者 氏名等	個人 職業等	団体・法人 目的・構成員 (人)等	推薦理由
1	タカタ ユキオ 高田 由紀夫	65	男	農業	昭和55年～民間勤務 平成29年 北九州市教育委員会 水稲 7,358㎡ ミカン 6,746㎡	非該当	感田一区 水利組合 水利委員長 石井省吾	—	地域における農業 用水の安定供給と 農業経営の貢献、 感田地区の農業従 事者、水利委員 12人	長年にわたり農業に従事されており、地域の農業者からの人望 が厚く多くの信頼を得ており、地域の状況をよく把握されてい る。農業への強い熱意や責任感を持っており自治会等の地域 活動の経験が豊富である。
2	ワタナベ アキオ 渡辺 昭生	53	男	農業	平成5年 就農 水稲 90,000㎡ ハウス ネギ・ホウレン草 2,500㎡	該当	下境地区 農事組合 月成忠生	—	農業用水路及び堤 等の適正管理、農 地を所有している 者、下境地区で耕 作している者 80人	農業経営に意欲的に取り組んでいる。 農業組合活動に積極的に協力している。
3	オオバ トシミ 大庭 利美	66	男	農業	昭和57年～団体職員 昭和62年 就農 平成18年 農事組合法人うえき設立 水稲 186,933㎡	該当	植木地区 水利組合 組合長 吉田照明	—	水利権の維持・管 理に関する業務、 植木地区の農業従 事者 13人	地域の水稲栽培の第一人者であり、地域の耕作放棄地を無く す活動に積極的に取り組み、地域農業の発展に尽力している。
4	サダミン セイイチ 貞光 誠一	64	男	農業	昭和55年 民間勤務 平成11年 就農 平成29年～農業委員3期 平成31年 合同会社ファーム貞光設 立 水稲 40,000㎡ イチゴ 6,000㎡ トルコギキョウ 2,000㎡ 養蜂 200群	該当	田代誠一 他2名	農業	—	地域のリーダー的存在である。
5	サダミン タカヒロ 貞光 孝宏	53	男	農業	平成10年 就農 平成22年 川西農事組合役員 平成28年 川西水利組合役員 水稲 28,000㎡ イチゴ 6,000㎡ メロン 1,300㎡ トルコギキョウ 3,000㎡	該当	貞光弘利 他2名	農業	—	地域のリーダー的存在である。

6	ハヤカフ ケイコ 早川 恵子	72	女	農業	昭和54年 就農 平成23～29年,令和2年～農業委員 平成25年 農政推進協議会委員 水稲 7,000㎡ 果樹 ハウス 2,500㎡ 路地 4,000㎡	非該当	村田武久 他2名	農業	—	果樹園経営を主に米作にも積極的に取り組み、地域農業者の範となっている。 地域活動も活発に参画され、地域からの信頼も大きい。
7	アサハラ ミツコ 朝原 美津子	47	女	農業	平成14年 就農 平成29年～農業委員 令和3年～福岡県農業委員会 女性ネットワーク副会長 水稲 15,217㎡ 野菜等 2,994㎡ ハウス 1,863㎡	非該当	植木地区 水利組合 組合長 吉田照明	—	水利権の維持・管理に関する業務、 植木地区の農業従事者 13人	地域の農業の発展に貢献し、女性農業委員として活躍し、今後もさらなる活躍が期待される。
8	タカシマ サンオウ 高島 三櫻	52	男	農業	平成9年 就農 平成26年 長田水利組合役員 温室 4,290㎡ 田 5,940㎡	該当	貞光弘利 他2名	農業	—	地域のリーダー的存在である。
9	モリ アツシ 森 篤史	52	男	農業	平成4～8年 民間勤務 平成8年 就農 水稲 210,000㎡ 麦 240,000㎡ 大豆 70,000㎡	該当	森高志 他2名	農業	—	米、麦、大豆を生産され、今後は乾田直播を取り入れ面積を拡大し、責任を持って働き、地元水利委員長もして地域に貢献している。
10	ヨシタケ トシヒロ 吉武 俊浩	72	男	農業	昭和47年～令和3年 団体職員 水稲 17,000㎡ 野菜 5,000㎡	非該当	永満寺 生産部 部長 大田明	—	農業生産基盤の整備、活性化及び良好な地域社会の維持、永満寺・上境地区の農業従事者 69人	約70haの農地を抱える永満寺地区では、71戸の農家によって耕作及び管理を行ってきた。しかし、農業従事者が高齢化しており、後継者確保が課題となっている。吉武氏は、自ら約2.2haの田畑を耕作し、農業従事者の差し迫った現状を深く認識し、長年にわたる実直な農協勤務で得られた豊富な見識によって農家への篤実な支援を行ってきた実績がある。後継者問題、収益力を向上させる生産体制の確立、若手就農家育成等に全力で取り組むことができるのは、吉武氏において他には存在せず、3期目を通して当地区の指導者として取り組んでいただきたい。

